

ことばハンター 国語辞典はこうつくる

飯間浩明／著

ポプラ社



「ことばハンター」それは国語辞典を作るためにことばを集め、集めたことばの説明を書く人のこと。

ことばハンターは新しいことばや面白いことばに出会うたび、メモを取ったり写真を撮ったりしてことばを集めます。国語辞典がどのようにしてつくられているのか、ことばハンターの生活や仕事をのぞいてみましょう。

秘密基地のつくりかた教えます

那須正幹／作 黒須高嶺／絵

ポプラ社



ノラネコの世話を一緒にしたことがきっかけで仲良くなった保と省吾。夏休みに2人だけの秘密基地を作ってキャンプをしようと決めます。秘密基地のつくり方やキャンプの場所選びなどは保の兄・徹に協力してもらいながら秘密基地はどんどん出来上がっていきます。はたして夏休み中に秘密基地を作ることができるのでしょうか。

♪“うちどく”ノートにきろくし^{ちやお}ciao♪

学校の本も、図書館の本も、おうちにある本も、読んだら“うちどく”ノートに記録してみよう。本を読みおえた日にちや、本のタイトルを書いておくと、あとからもう一度読みたくなった時や、おうちの人や友だちに紹介したい時に役に立つよ！

一年間でどのくらい記録できるかチャレンジしてみよう。“うちどく”ノートは中央図書館で無料でもらえます。

村上市の図書館(図書室)案内

図書館

■中央図書館

村上市田端町4-25 TEL53-7511(代)

■朝日図書館

村上市岩沢5668 TEL72-6700(代)

図書室

■荒川図書室

村上市羽ヶ榎104-25 TEL62-3050(代)

■神林図書室

村上市岩船駅前63 TEL60-1500(代)

■山北図書室

村上市府屋177-1 TEL77-3798(代)

いい本みつけた 2020年度版

小学5・6年生むけ



村上市立中央図書館

ソーリ!

濱野京子／作 おとないちあき／画 くもん出版



短冊^{たんざく}に書いた「そうりだいじんになりたい」という夢を笑われた^{てるは}照葉。小学5年生になった今でも人前で夢を語れずにいました。友達からは「今の夢は違^{ちが}うって言えばいいじゃない」と言われますが、自分の夢が分からないために答えられません。そんな中、照葉はなりゆきから後期の学級委員に選ばれます。

ゆかいな床井くん

戸森しるこ／著 講談社



6年生のクラスがえて最初に^{こよみ}暦のとなりの席になったのは^{とこい}床井くんという男の子。床井くんは明るくてよくしゃべるクラスの人気者だけど、「ふくらはぎ」のことを「ふっくらはぎ」と言ったり、暦に「ミケ」ってあだ名をつけてみたりとちょっと不思議な子で……。

そんな床井くんと過ごす卒業までの1年間の物語。

しずかな魔女

市川朔久子／作 岩崎書店



学校に行けなくて毎日図書館で過ごす草子^{そうこ}は、知り合った司書の深津^{ふかつ}さんから「しずかな子は、魔女に向いている」と書かれた紙をもらいました。その言葉が本に出てくる言葉だと考えた草子は、深津さんにその本を探してほしいと頼みます。夏休みが始まる前の日、深津さんから渡されたのは紙に印刷された『しずかな魔女』という物語でした。

またね、かならず

草野たき／作 おとないちあき／絵 岩崎書店



大きくなるたびにかわっていく人間関係や環^{かんきょう}境、身体。その変化がいやで6年生になったばかりの陽菜^{ひな}は大きくなりたいくない、大人になりたいと思うようになります。大好きだったピアノも楽しく^ひ弾けなくなっていまいした。

そんな時、陽菜のクラスに明るくてピアノが上手な男の子が転校してきます。

手紙

福田隆浩／著 講談社



秋田県に住む小学6年生の穂乃香^{ほのか}には気になっていることがありました。それは亡くなったお母さんが修学旅行先の長崎で体験した^{きせき}「奇跡みたいな出来事」についてです。穂乃香は謎を解くため、長崎県に住む小学6年生の耕治^{こうじ}が通う小学校に手紙を出します。秋田と長崎、遠く^{はな}離れた小学生2人が「文通」によって謎を解き明かし、心を通わせていく物語。

モノ・ジョーンズとからくり本屋

シルヴィア・ビショップ／作
三辺律子／訳 平澤朋子／絵 フレーベル館



モノ・ジョーンズは小さな本屋^{はくしかてい}〈白鹿亭〉で家族と暮らす女の子。家族にも言えない^{ひみつ}秘密をもっています。

ある日、ジョーンズ一家はロンドンにあるからくり本屋〈モンゴメリー本の王国〉を^ひ引き継ぐことになります。大喜びした一家でしたが、この本屋にはからくりだけではない秘密が隠されていました。